



※提供：星野リゾート 青森屋

須道 玲奈 さん

星野リゾート 青森屋 総支配人

.....
鹿橋出身・30歳
趣味は手芸とカラオケ
べこもちが大好きです！

「星野リゾート 青森屋」（三沢市）の総支配人を務める、須道玲奈さん（鹿橋出身）に、お話を伺いました。「星野リゾート 青森屋」は、青森の祭りや方言の文化を満喫できる温泉宿です。須道さんは、令和5年12月に、青森県出身者かつ女性初の青森屋の総支配人として就任されました。

―「星野リゾート」へ入社するきっかけ

須道さんは、東通中学校在学時、英語に興味があり、村の交流事業に参加し、ニュージーランドに行かれました。中学校卒業後は、青森市内の高校に進学し、高校生の頃から、村外での生活を経験されました。高校の同級生は、下北を知らない人ばかりで、東通村に何があるのか、伝えないと知らない状況が同じ県内にもあることに、最初はショックを受けたといいます。そして、高校2年生の頃には、アメリカに3週間滞在するプログラムに参加、大学時代は、韓国に1年間留学され、海外生活を経験する中で日本の良さに気付いたといいます。



※提供：星野リゾート 青森屋

「外に出てみて気付く日本料理の美味しさや日本文化の良さ、生まれ育った東通村の良さに気づき、日本の各地の小さな良いことがもっと世界に広まったら良いのになあと学生時代に考えていたことが大きいです。」

―中学時代まで鹿橋で暮らした思い出

須道さんは、小学校1年生の頃から子ども会に所属し、田植え餅つき踊り等の手踊りを体験されたことに触れ、「お正月に地域の方にみせたときの緊張感や達成感が思い出です。」とお話ししてくれました。大人になって振り返り、郷土芸能に触れて体得できたことは、貴重な経験だったといいます。また、幼稚園の頃は園児が4人、小学校は教室に2人だけという環境で勉強されていたことから、地域の方に囲まれて、少人数で学校に通っていたことも思い出だそうです。